

**まちづくりアンケート調査
報告書
《概要版》**

**令和元年9月
月形町**

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の概要	1
2. 調査票の回収結果	1
3. 集計結果の表し方	1
第2章 アンケート集計結果	2
1. 回答者の属性	2
(1) 回答者の性別	2
(2) 回答者の年齢	2
(3) 回答者の職業	3
(4) 回答者の居住地区	3
(5) 回答者の居住年数	4
2. 月形町への愛着度・定住意向	5
(1) 月形町への愛着度	5
(2) 月形町の魅力	6
(3) 月形町への定住意向	8
(4) 月形町に住みたくない理由	9
3. 月形町の取組について	10
(1) 現状の満足度	10
(2) 今後の重要度	11
(3) 評価点による評価	12
4. 日頃の行動などについて	20
(1) 環境に配慮した生活の実践	20
(2) ごみの減量化のための3R運動の実践	20
(3) 日頃の健康増進のための取組の実施	21
(4) 地域福祉活動の実施	21
(5) 広報「花の里つきがた」を読むこと	22
(6) 町のホームページを見たこと	22
5. 産業振興について	23
(1) 産業振興で力を入れるべき分野	23
(2) 観光・交流の振興に重要なこと	24
6. 少子化対策について	25
(1) 少子化対策として力を入れるべき分野	25
7. 高齢者福祉について	26
(1) 充実した老後を送るために大切なこと	26
(2) 町民が健康な生活を送るために大切なこと	27
8. コミュニティ活動、参画・協働について	28
(1) コミュニティ活動等への参加状況と今後の参加意向	28
(2) 参加したいコミュニティ活動等の種類	29
(3) 「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なこと	30
(4) 行政サービスや財政運営で特に進めていくべき項目	31

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

本調査は「月形町第4次総合振興計画後期基本計画」及び「第2期月形町創生総合戦略」を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	令和元年7月1日現在 一般向け：月形町に在住する18歳以上の町民1,000人
抽出方法	無作為抽出
調査期間	令和元年7月
調査方法	郵送による調査票の配布・回収

2. 調査票の回収結果

■調査票の全体回収率

	配布数 (票)	有効配布数 (票)	回収数 (%)	白票 (票)	有効回収数 (票)	有効回収率 (%)
今回調査	1,000	995	313	0	313	31.5
(参考) 平成26年調査※	2,000	2,000	897	0	897	44.9

※平成26年調査は20歳以上の町民を対象として実施

3. 集計結果の表し方

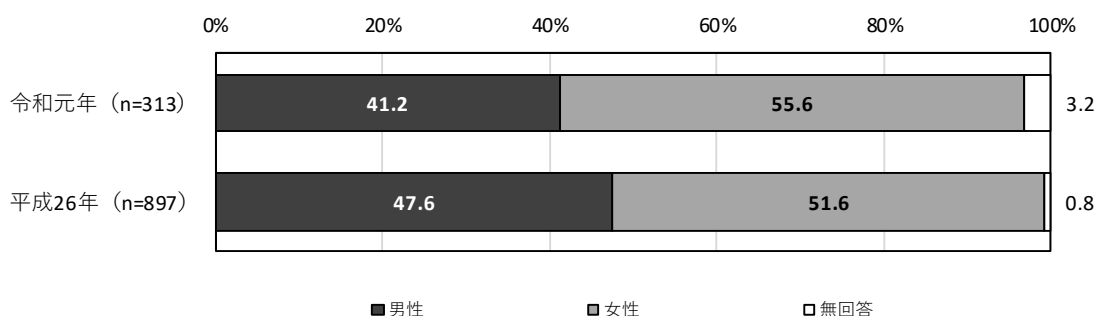
- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（n）として、各項目の回答者数を表記しています。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。
- 過去に実施したアンケート調査との比較では、以下の表記を用いています。
 - ・「平成26年」：平成26年に報告したまちづくりアンケート調査結果（20歳以上の町民を対象として実施）
 - ・「令和元年」：今回調査（18歳以上の町民を対象として実施）

第2章 アンケート集計結果

1. 回答者の属性

(1) 回答者の性別

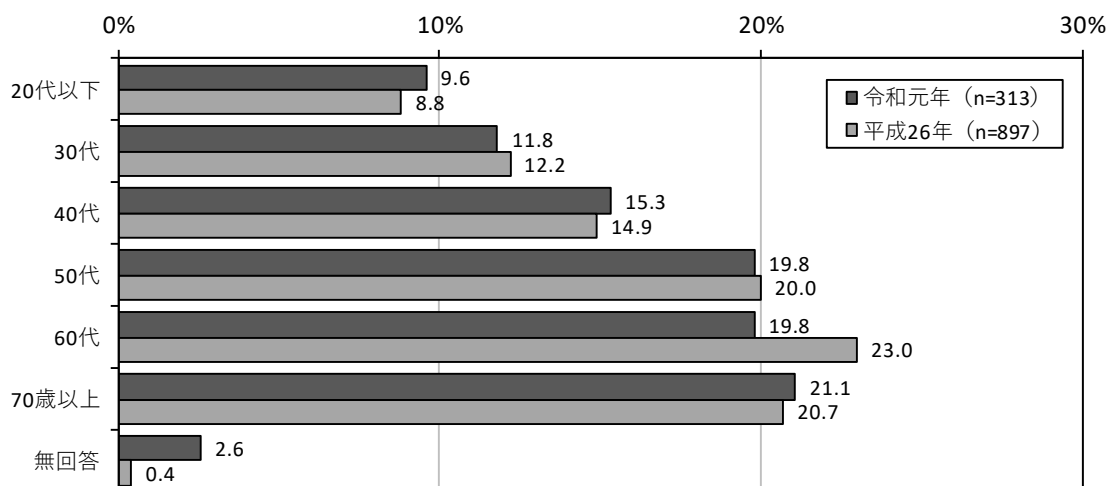
回答者の性別は、男性が41.2%、女性が55.6%となっています。平成26年調査と比べると、今回は男性が6.4ポイント少なく、女性は4.0ポイント多くなっています。



(2) 回答者の年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が21.1%で最も多く、次いで「50代」「60代」（ともに19.8%）、「40代」（15.3%）が続いています。

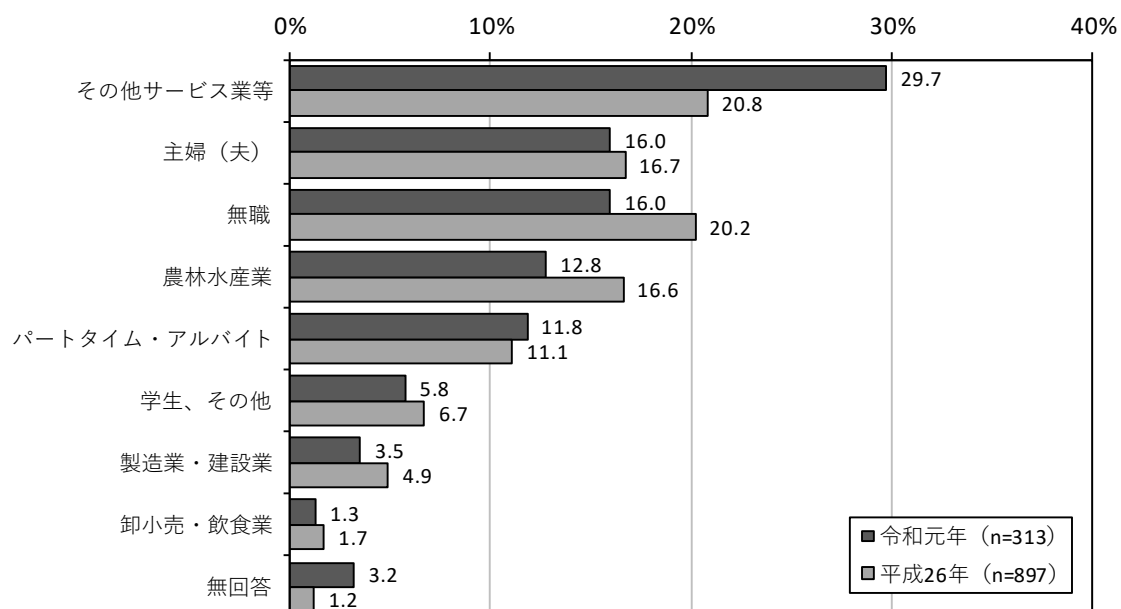
平成26年調査と比べても、年齢階級別の構成比に大きな差異はみられません。



(3) 回答者の職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が29.7%で最も多く、次いで「主婦（夫）」「無職」（ともに16.0%）、「農林水産業」（12.8%）が続いています。

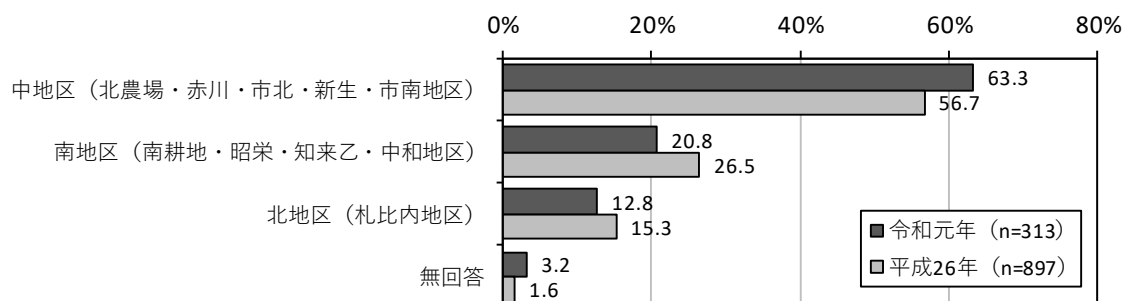
平成26年調査と比べると「その他サービス業等」は8.9ポイント多く、「無職」が4.2ポイント、「農林水産業」が3.8ポイント少なくなっています。



(4) 回答者の居住地区

回答者の居住地区は、「中地区（北農場・赤川・市北・新生・市南地区）」が63.3%で最も多く、次いで「南地区（南耕地・昭栄・知来乙・中和地区）」（20.8%）、「北地区（札比内地区）」（12.8%）となっています。

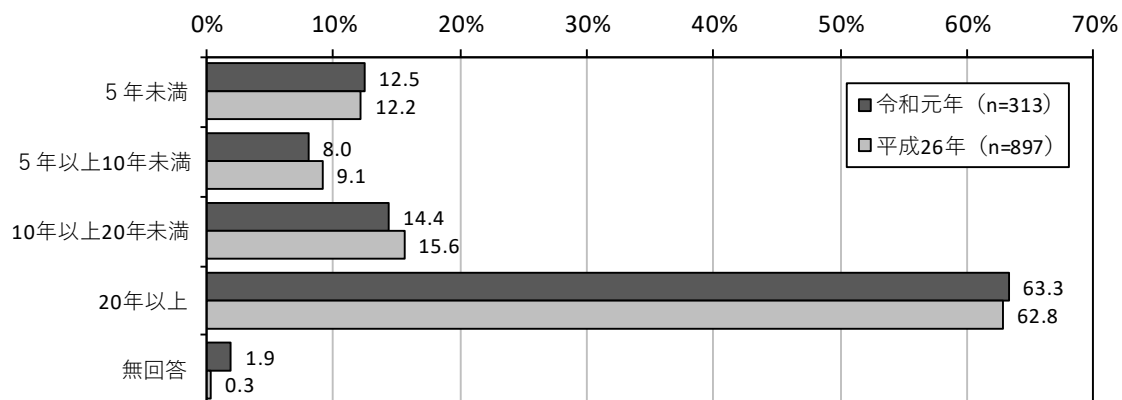
平成26年調査と比べると「中地区（北農場・赤川・市北・新生・市南地区）」が6.6ポイント多くなり、「南地区（南耕地・昭栄・知来乙・中和地区）」は5.7ポイント、「北地区（札比内地区）」は2.5ポイント少なくなっています。



(5) 回答者の居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」が63.3%で最も多く、次いで「5年未満」（12.5%）、「10年以上20年未満」（14.4%）が続いています。

平成26年調査と比べても、居住年数別の構成比に大きな差異はみられません。

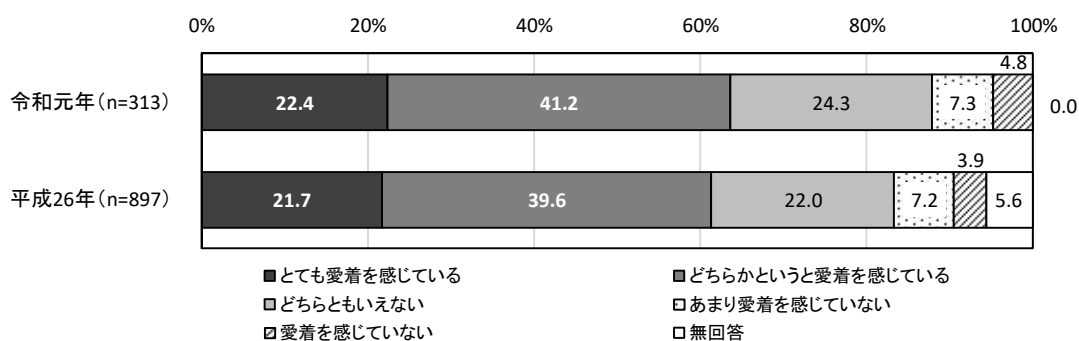


2. 月形町への愛着度・定住意向

(1) 月形町への愛着度

町への愛着度を「とても愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」の合計（63.6%）と、「あまり愛着を感じていない」「愛着を感じていない」の合計（12.1%）でみると、町に愛着を感じている方が多い状況です。平成26年調査と比べても大きな差異はみられません。

問1 あなたは、月形町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。（1つに○印）



男女別・年齢階級別の集計

○男女別に「とても愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」の合計をみると、男女ともに約60%で大きな差異はみられません。

○年齢階級別に「とても愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」の合計をみると、40代以上は愛着を感じている方が70%前後と多くなっていますが、30代においては27.0%と極端に少なくなっています。

								(%)
		n	とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じている	どちらともい えない	あまり 愛着を感じて いない	愛着を 感じていない	無回答
全 体		313	22.4	41.2	24.3	7.3	4.8	0.0
性別	男 性	129	20.9	40.3	26.4	7.8	4.7	0.0
	女 性	174	23.0	42.0	23.6	6.9	4.6	0.0
年 齢	20 代以下	30	23.3	30.0	36.7	6.7	3.3	0.0
	30 代	37	5.4	21.6	32.4	21.6	18.9	0.0
	40 代	48	22.9	50.0	16.7	8.3	2.1	0.0
	50 代	62	21.0	48.4	21.0	8.1	1.6	0.0
	60 代	62	22.6	43.5	29.0	1.6	3.2	0.0
	70 歳以上	66	33.3	42.4	15.2	4.5	4.5	0.0

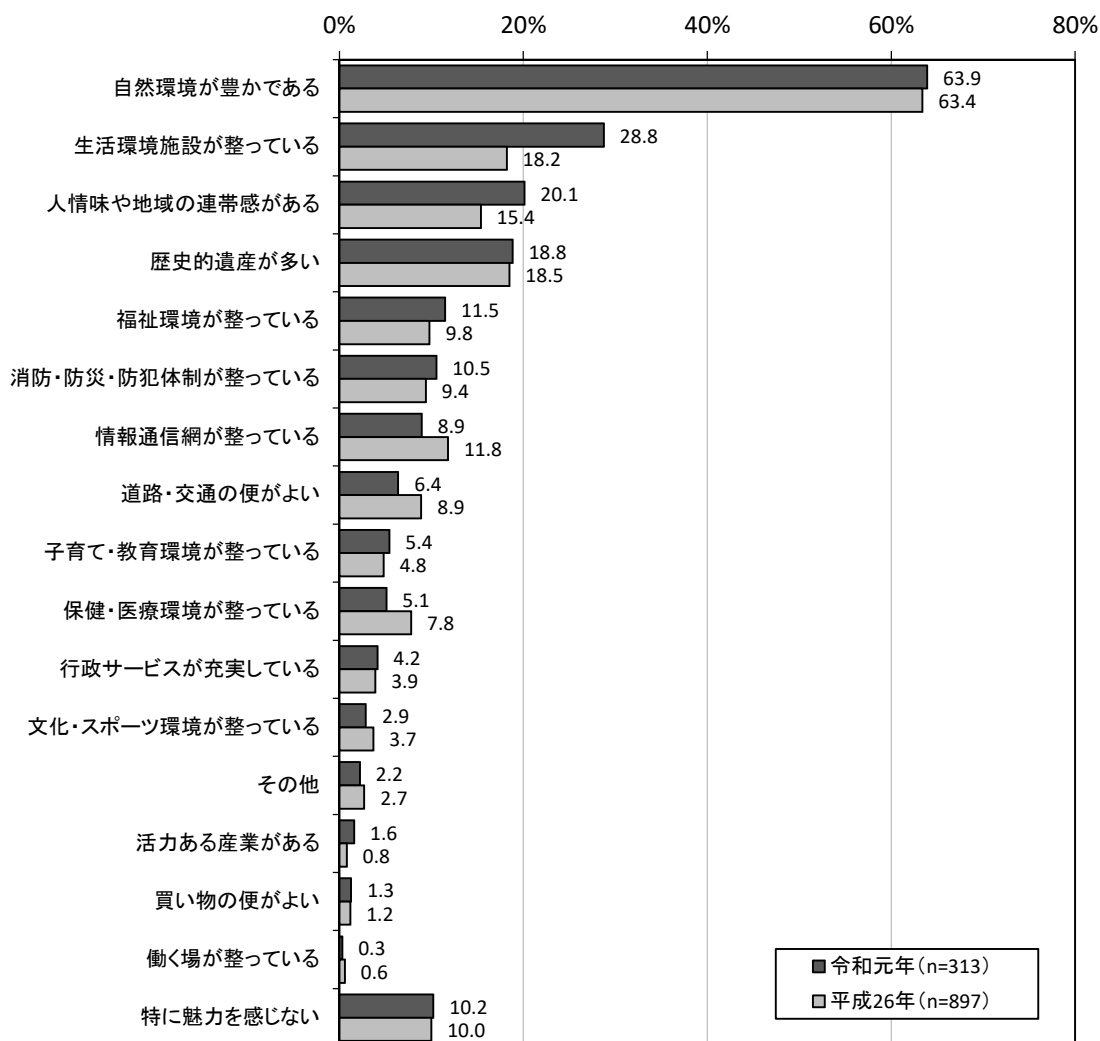
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 月形町の魅力

月形町の魅力をうかがったところ、「自然環境が豊かである」が63.9%で最も多く、次いで「生活環境施設が整っている」(28.8%)、「人情味や地域の連帯感がある」(20.1%)が続いています。

平成26年調査と比べると、「生活環境施設が整っている」が10.6ポイント、「人情味や地域の連帯感がある」が4.7ポイント増加しています。

問2 あなたは、月形町はどのようなところが魅力だと思いますか。(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、おおむね同じ傾向となっていますが、女性の方が男性に比べてそれぞれの割合がやや多い状況です。

○年齢階級別でみると、40代、60代は「歴史的遺産が多い」がおおよそ30%で他の年代に比べて多くなっています。

(%)

		n	自然環境が豊かである	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	道路・交通の便がよい	情報通信網が整っている	消防・防災・防犯体制が整っている	保健・医療環境が整っている
全 体		313	63.9	28.8	6.4	8.9	10.5	5.1
性別	男 性	129	62.0	24.8	6.2	6.2	14.0	3.1
	女 性	174	64.9	31.6	6.3	10.3	8.6	6.3
年齢	20代以下	30	73.3	26.7	16.7	3.3	6.7	3.3
	30代	37	59.5	8.1	5.4	5.4	5.4	2.7
	40代	48	75.0	12.5	4.2	12.5	12.5	2.1
	50代	62	69.4	25.8	3.2	3.2	11.3	3.2
	60代	62	66.1	35.5	1.6	12.9	9.7	3.2
	70歳以上	66	48.5	53.0	10.6	12.1	15.2	13.6

		n	福祉環境が整っている	子育て・教育環境が整っている	文化・スポーツ環境が整っている	歴史的遺産が多い	活力ある産業がある	買い物の便がよい
全 体		313	11.5	5.4	2.9	18.8	1.6	1.3
性別	男 性	129	8.5	5.4	2.3	20.2	1.6	0.8
	女 性	174	13.8	5.7	3.4	17.8	1.7	1.7
年齢	20代以下	30	16.7	6.7	3.3	13.3	0.0	3.3
	30代	37	5.4	10.8	2.7	8.1	0.0	0.0
	40代	48	10.4	12.5	0.0	25.0	2.1	4.2
	50代	62	8.1	3.2	3.2	21.0	3.2	0.0
	60代	62	11.3	3.2	1.6	27.4	1.6	0.0
	70歳以上	66	18.2	1.5	4.5	13.6	1.5	1.5

		n	働く場が整っている	人情味や地域の連帯感がある	行政サービスが充実している	特に魅力を感じない	その他	無回答
全 体		313	0.3	20.1	4.2	10.2	2.2	1.6
性別	男 性	129	0.8	14.7	7.0	14.0	2.3	0.8
	女 性	174	0.0	24.1	2.3	6.9	2.3	2.3
年齢	20代以下	30	0.0	16.7	3.3	0.0	0.0	0.0
	30代	37	0.0	13.5	2.7	18.9	8.1	2.7
	40代	48	0.0	12.5	2.1	16.7	2.1	0.0
	50代	62	0.0	25.8	4.8	11.3	1.6	1.6
	60代	62	1.6	21.0	3.2	6.5	1.6	3.2
	70歳以上	66	0.0	27.3	7.6	4.5	1.5	1.5

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

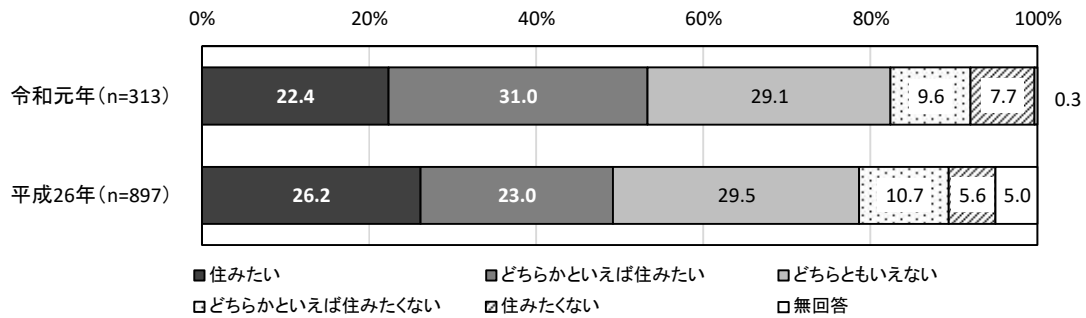
(3) 月形町への定住意向

今後の定住意向は、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計が53.4%、「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」の合計が17.3%となっています。

平成26年調査と比べると、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計が4.2ポイント増加しています。

問3 あなたは、これからも月形町に住み続けたいと思いますか。

(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別に「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計でみると、男性は58.1%、女性は50.0%で男性の方がやや多くなっています。

○年齢階級別に同様の割合でみると、40代以上は半数以上が住み続けたいと回答しており、特に70歳以上は71.2%を占めています。

		n	住みたい	どちらかといえば住みたい	どちらともいえない	どちらかといえば住みたくない	住みたくない	無回答
全 体		313	22.4	31.0	29.1	9.6	7.7	0.3
性別	男 性	129	22.5	35.7	25.6	10.1	6.2	0.0
	女 性	174	21.8	28.2	31.6	9.2	8.6	0.6
年齢	20 代以下	30	13.3	33.3	33.3	10.0	10.0	0.0
	30 代	37	5.4	35.1	29.7	16.2	13.5	0.0
	40 代	48	22.9	27.1	33.3	10.4	6.3	0.0
	50 代	62	21.0	32.3	25.8	11.3	8.1	1.6
	60 代	62	21.0	30.6	35.5	4.8	8.1	0.0
	70 歳以上	66	40.9	30.3	16.7	7.6	4.5	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

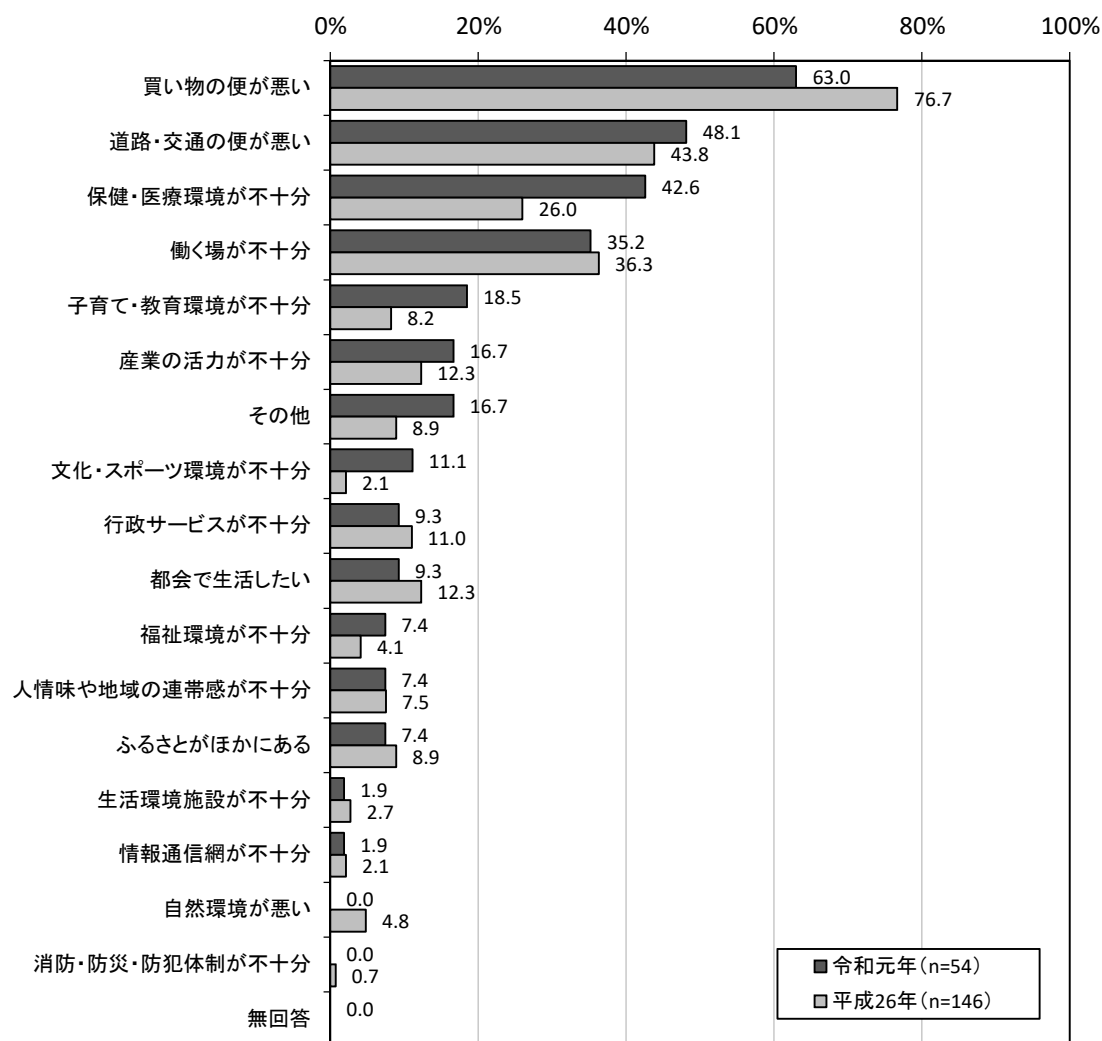
(4) 月形町に住みたくない理由

今後、町に住みたくない理由は、「買い物の便が悪い」が63.0%で最も多く、次いで「道路・交通の便が悪い」(48.1%)、「保健・医療環境が不十分」(42.6%)が続いています。

平成26年調査と比べると、「買い物の便が悪い」は13.7ポイント減少し、「保健・医療環境が不十分」は16.6ポイント増加しています。

問3-1 住みたくない主な理由は何ですか。

(3つまでに○印)



3. 月形町の取組について

(1) 現状の満足度

①満足度が高い項目

「どちらかといえば満足」と「満足している」の合計の上位10項目は下表のとおりとなっています。

「1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況」（61.4%）が最も満足度が高く、次いで「1-⑩消防・救急体制」（58.1%）、「1-⑥上水道の整備状況」（55.0%）が続いており、上位10項目は生活環境分野の満足度が高くなっています

《満足度が高い10項目》

順位	満足度が高い10項目	満足度の集計結果（%）		
		どちらかといえば満足（A）	満足している（B）	満足の合計（A）+（B）
1	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	37.1	24.3	61.4
2	1-⑩消防・救急体制	37.7	20.4	58.1
3	1-⑥上水道の整備状況	37.4	17.6	55.0
4	1-⑦下水道の整備状況	32.6	18.5	51.1
5	1-⑨し尿処理の状況	29.7	18.5	48.2
6	1-⑮雪対策の状況	31.6	11.2	42.8
7	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	30.4	11.8	42.2
8	2-⑥情報環境	31.0	11.2	42.2
9	1-⑭交通安全体制	32.9	8.9	41.8
10	1-①環境保全の状況	28.4	12.8	41.2

②満足度が低い項目

「不満である」と「どちらかといえば不満」の合計の上位10項目は下表のとおりとなっています。

「3-③商業振興の状況」（42.2%）が最も不満の割合が高く、次いで「4-②医療体制」（36.4%）、「2-④路線バスの状況」（35.1%）と続いています。

《満足度が低い10項目》

順位	満足度が低い10項目	満足度の集計結果（%）		
		不満である（A）	どちらかといえば不満（B）	不満の合計（A）+（B）
1	3-③商業振興の状況	14.7	27.5	42.2
2	4-②医療体制	14.7	21.7	36.4
3	2-④路線バスの状況	11.5	23.6	35.1
4	3-④工業振興・企業誘致の状況	10.2	23.6	33.8
5	3-⑤観光振興の状況	11.5	20.1	31.6
6	3-⑥雇用対策の状況	8.9	22.7	31.6
7	1-⑰買い物環境の状況	9.9	21.1	31.0
8	1-⑱定住促進対策の状況	9.3	13.7	23.0
9	1-⑮雪対策の状況	3.8	18.8	22.6
10	2-②住宅施策の状況	7.3	15.0	22.3

(2) 今後の重要度

①重要度が高い項目

「やや重視している」と「重視している」の合計は、「1-⑮雪対策の状況」が74.1%で最も多く、次いで「4-②医療体制」(69.7%)、「1-⑪防災体制」(67.4%)と続いています。

《重要度が高い 10 項目》

順位	重要度が高い 10 項目	重要度の集計結果 (%)		
		やや重視している (A)	重視している (B)	重視しているの合計 (A) + (B)
1	1-⑮雪対策の状況	25.9	48.2	74.1
2	4-②医療体制	31.0	38.7	69.7
3	1-⑪防災体制	33.5	33.9	67.4
4	1-⑩消防・救急体制	29.7	36.7	66.4
5	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	35.8	28.4	64.2
6	1-⑬防犯体制	39.0	24.9	63.9
7	2-④路線バスの状況	29.4	33.9	63.3
8	1-⑥上水道の整備状況	32.6	28.1	60.7
9	4-⑤子育て支援体制	31.3	29.1	60.4
10	4-①保健サービス提供体制	36.7	22.4	59.1

②重要度が低い項目

「重視していない」と「あまり重視していない」の合計は、「1-②新エネルギー導入の状況」が18.3%で最も多く、次いで「5-⑦国内外との交流活動の状況」(12.8%)、「1-⑤緑化の推進状況」(11.5%)と続いています。

《重要度が低い 10 項目》

順位	重要度が低い 10 項目	重要度の集計結果 (%)		
		重視していない (A)	あまり重視していない (B)	重視していないの合計 (A) + (B)
1	1-②新エネルギー導入の状況	4.2	14.1	18.3
2	5-⑦国内外との交流活動の状況	4.2	8.6	12.8
3	1-⑤緑化の推進状況	1.9	9.6	11.5
4	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	3.2	8.0	11.2
5	3-⑦消費者対策の状況	2.9	7.7	10.6
6	1-⑱定住促進対策の状況	2.6	7.7	10.3
7	1-④公園・緑地の整備状況	2.2	7.7	9.9
8	1-⑰買い物環境の状況	3.2	6.7	9.9
9	5-⑤文化遺産の保存・活用の状況	3.2	6.7	9.9
10	1-①環境保全の状況	1.3	8.0	9.3

(3) 評価点による評価

■評価点の計算方法について

問4の各項目の満足度及び重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

※満足度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left\{ \begin{array}{ll} \text{「満足している」の回答者数} & \times 10 \text{ 点} \\ \text{「どちらかといえば満足」の回答者数} & \times 5 \text{ 点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} & \times 0 \text{ 点} \\ \text{「どちらかといえば不満」の回答者数} & \times -5 \text{ 点} \\ \text{「不満である」の回答者数} & \times -10 \text{ 点} \end{array} \right\} \div \text{無回答以外の回答者数}$$

※重要度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left\{ \begin{array}{ll} \text{「重視している」の回答者数} & \times 10 \text{ 点} \\ \text{「やや重視している」の回答者数} & \times 5 \text{ 点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} & \times 0 \text{ 点} \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} & \times -5 \text{ 点} \\ \text{「重視していない」の回答者数} & \times -10 \text{ 点} \end{array} \right\} \div \text{無回答以外の回答者数}$$

①満足度の評価点（全体）

評価点による満足度においても、「1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況」が4.01で最も評価点が高く、次いで「1-⑩消防・救急体制」（3.71）、「1-⑥上水道の整備状況」（3.36）と続いています。

一方、「3-③商業振興の状況」は-2.74で最も評価点が低く、次いで「3-④工業振興・企業誘致の状況」（-2.03）、「3-⑥雇用対策の状況」（-1.77）と続いています。

《満足度評価／全体》

上位10項目		
順位	項 目	評価点
1	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	4.01
2	1-⑩消防・救急体制	3.71
3	1-⑥上水道の整備状況	3.36
4	1-⑨し尿処理の状況	3.28
5	1-⑦下水道の整備状況	3.06
6	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	2.58
7	1-①環境保全の状況	2.42
8	1-⑭交通安全体制	2.41
9	2-⑥情報環境	2.18
10	1-⑪防災体制	2.05

下位10項目		
順位	項 目	評価点
1	3-③商業振興の状況	-2.74
2	3-④工業振興・企業誘致の状況	-2.03
3	3-⑥雇用対策の状況	-1.77
4	3-⑤観光振興の状況	-1.59
5	2-④路線バスの状況	-1.54
6	4-②医療体制	-1.43
7	1-⑱定住促進対策の状況	-0.86
8	1-⑰買い物環境の状況	-0.79
9	2-②住宅施策の状況	-0.46
10	1-②新エネルギー導入の状況	-0.46

②重要度の評価点

評価点による重要度においては、「1-⑮雪対策の状況」が6.40で最も評価点が高く、次いで「4-②医療体制」（5.49）、「1-⑩消防・救急体制」（5.35）と続いています。

一方、「5-⑦国内外との交流活動の状況」は1.22で最も評価点が低く、次いで「1-②新エネルギー導入の状況」（1.38）、「3-②林業振興の状況」（1.54）と続いています。

《重要度評価／全体》

上位10項目		
順位	項 目	評価点
1	1-⑮雪対策の状況	6.40
2	4-②医療体制	5.49
3	1-⑩消防・救急体制	5.35
4	1-⑪防災体制	5.24
5	2-④路線バスの状況	4.77
6	1-⑧ごみ処理・リサイクル等の状況	4.70
7	4-⑤子育て支援体制	4.65
8	1-⑥上水道の整備状況	4.63
9	1-⑬防犯体制	4.49
10	4-③高齢者支援体制	4.28

下位10項目		
順位	項 目	評価点
1	5-⑦国内外との交流活動の状況	1.22
2	1-②新エネルギー導入の状況	1.38
3	3-②林業振興の状況	1.54
4	2-①土地利用の状況	1.56
5	1-⑯墓地・火葬場の整備状況	1.63
6	3-⑦消費者対策の状況	1.71
7	1-⑤緑化の推進状況	1.92
8	6-②男女共同参画の状況	2.08
9	6-④町民参画・協働の状況	2.11
10	6-①人権尊重のまちづくりの状況	2.12

③今後力を入れるべき施策項目

施策項目の満足度と重要度に関して偏差値による分析※を行い、改善度を算出しました。

また、改善度がプラスの項目を“改善の優先度が高いと思われる項目”、マイナスの項目を“改善の優先度が低いと思われる項目”として整理しました。

この分析によって、今後力を入れるべき施策として改善の必要性が高い上位3項目を抽出したところ、全体では「4-② 医療体制」「2-④ 路線バスの状況」「3-③ 商業振興の状況」となり、これらの項目は改善の優先度が高いと考えられます。

《改善の優先度が高い項目（改善度が高い上位5項目）》

年代	改善の優先度が非常に高い項目	改善度	全体との差異
全 体	4-② 医療体制	23.84	
	2-④ 路線バスの状況	20.03	
	3-③ 商業振興の状況	17.45	
	1-⑮ 雪対策の状況	15.71	
	3-⑥ 雇用対策の状況	13.59	
30 代以下	4-② 医療体制	26.63	+2.79
	2-④ 路線バスの状況	18.85	-1.18
	4-⑤ 子育て支援体制	18.33	+8.91
	1-⑮ 雪対策の状況	17.52	+1.81
	3-③ 商業振興の状況	15.64	-1.81
40～50 代	4-② 医療体制	25.46	+1.62
	3-③ 商業振興の状況	20.12	+2.67
	2-④ 路線バスの状況	20.00	-0.03
	1-⑮ 雪対策の状況	14.41	-1.30
	3-⑤ 観光振興の状況	13.50	+1.17
60 歳以上	2-④ 路線バスの状況	20.14	+0.11
	4-② 医療体制	18.23	-5.61
	3-③ 商業振興の状況	14.74	-2.71
	1-⑮ 雪対策の状況	13.72	-1.99
	3-⑥ 雇用対策の状況	12.46	-1.13

※網掛け部は全体との差異が 2.0 以上の施策項目

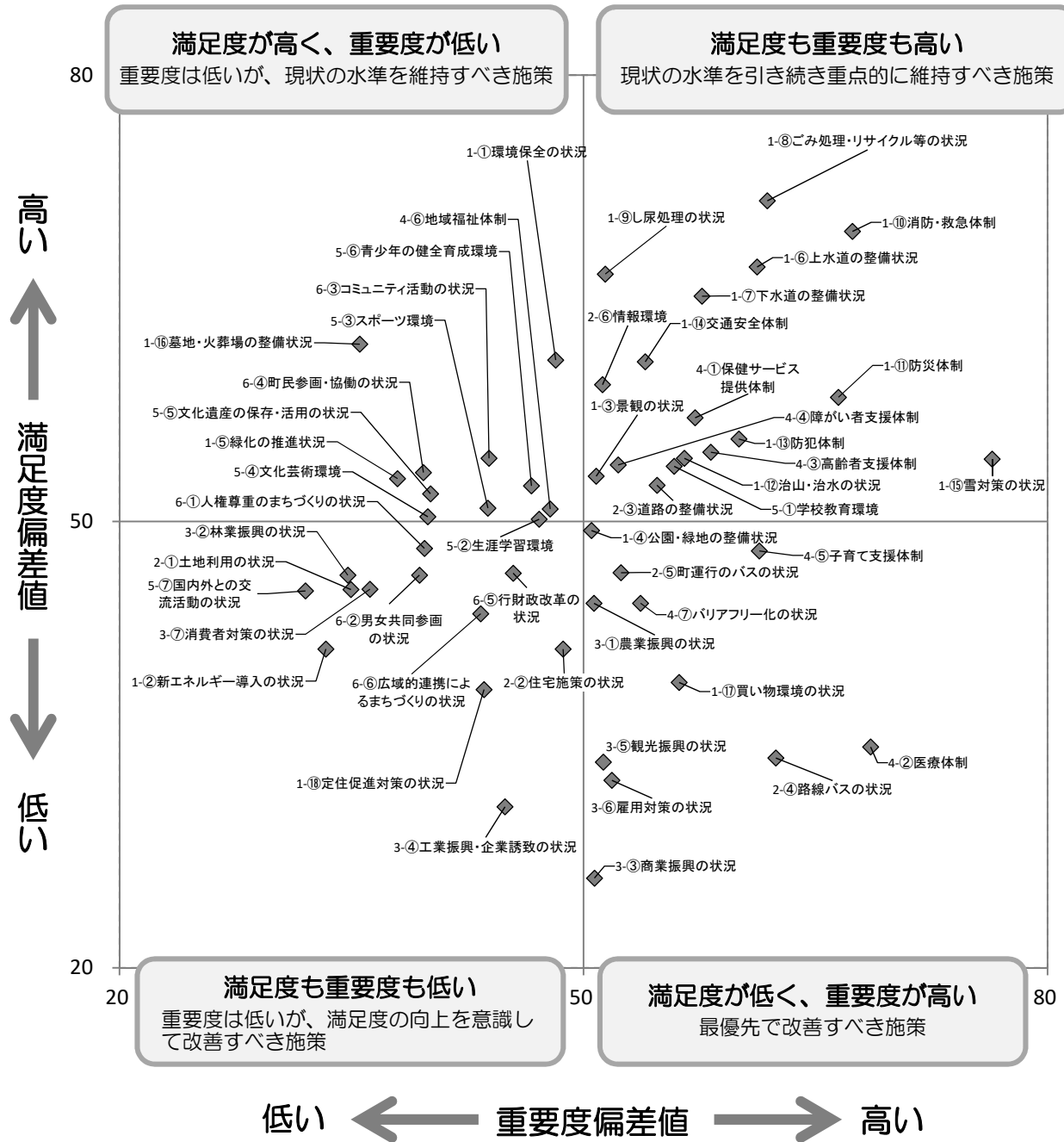
※偏差値による分析について

満足度評価と重要度評価それぞれの偏差値を算出し、重要度偏差値を横軸に、満足度偏差値を縦軸にとり、散布図に各項目をプロットします。

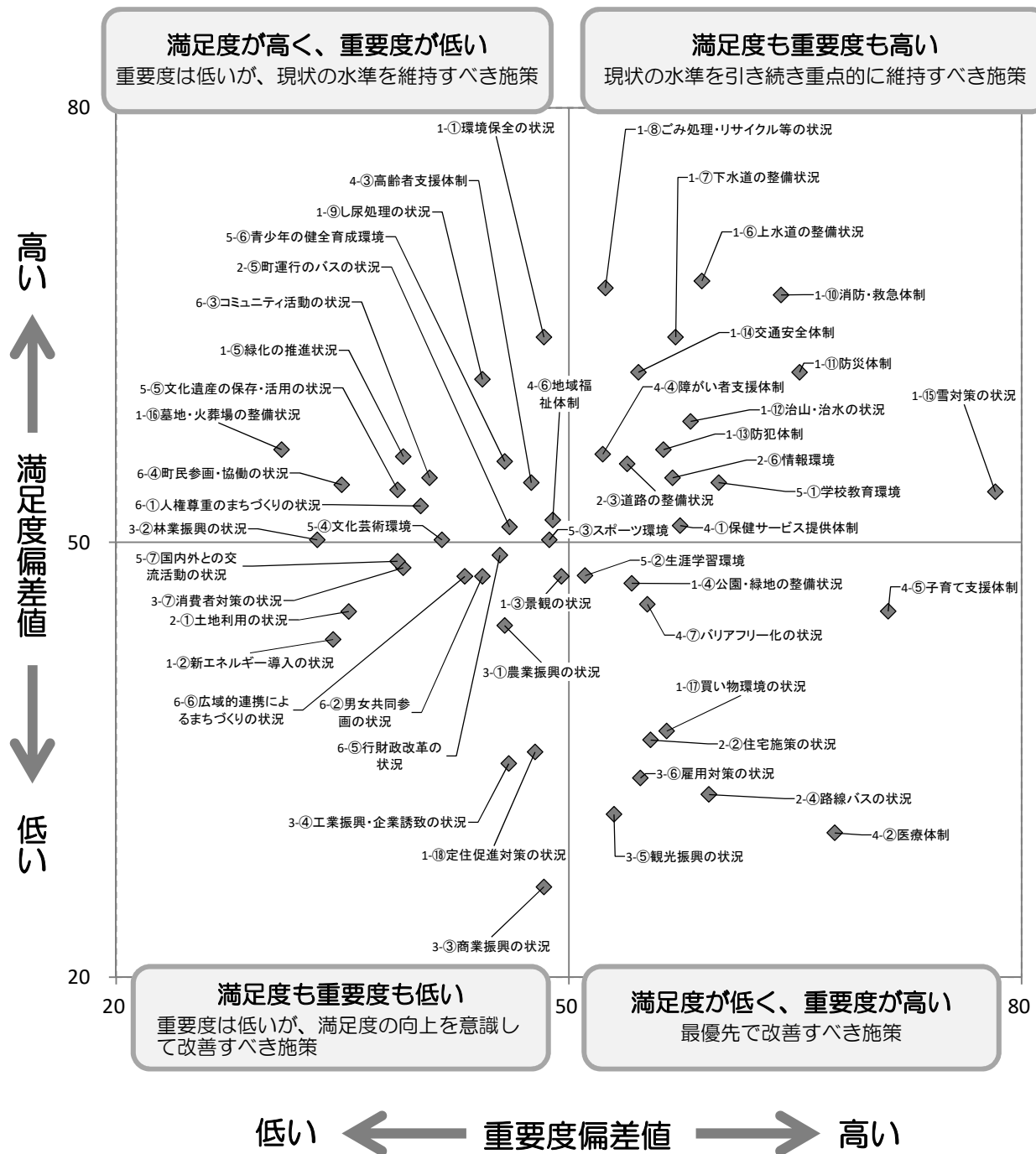
改善度は、プロットの原点（満足度偏差値 50 および重要度偏差値 50 の位置）からの距離×修正指数で算出し、原点からの距離、修正指数は以下の計算式で算出します。

$$\text{距離} = \sqrt{(x - \bar{x})^2 + (y - \bar{y})^2} \quad \text{修正指数 } r = \frac{90 - \text{角度}}{90}$$

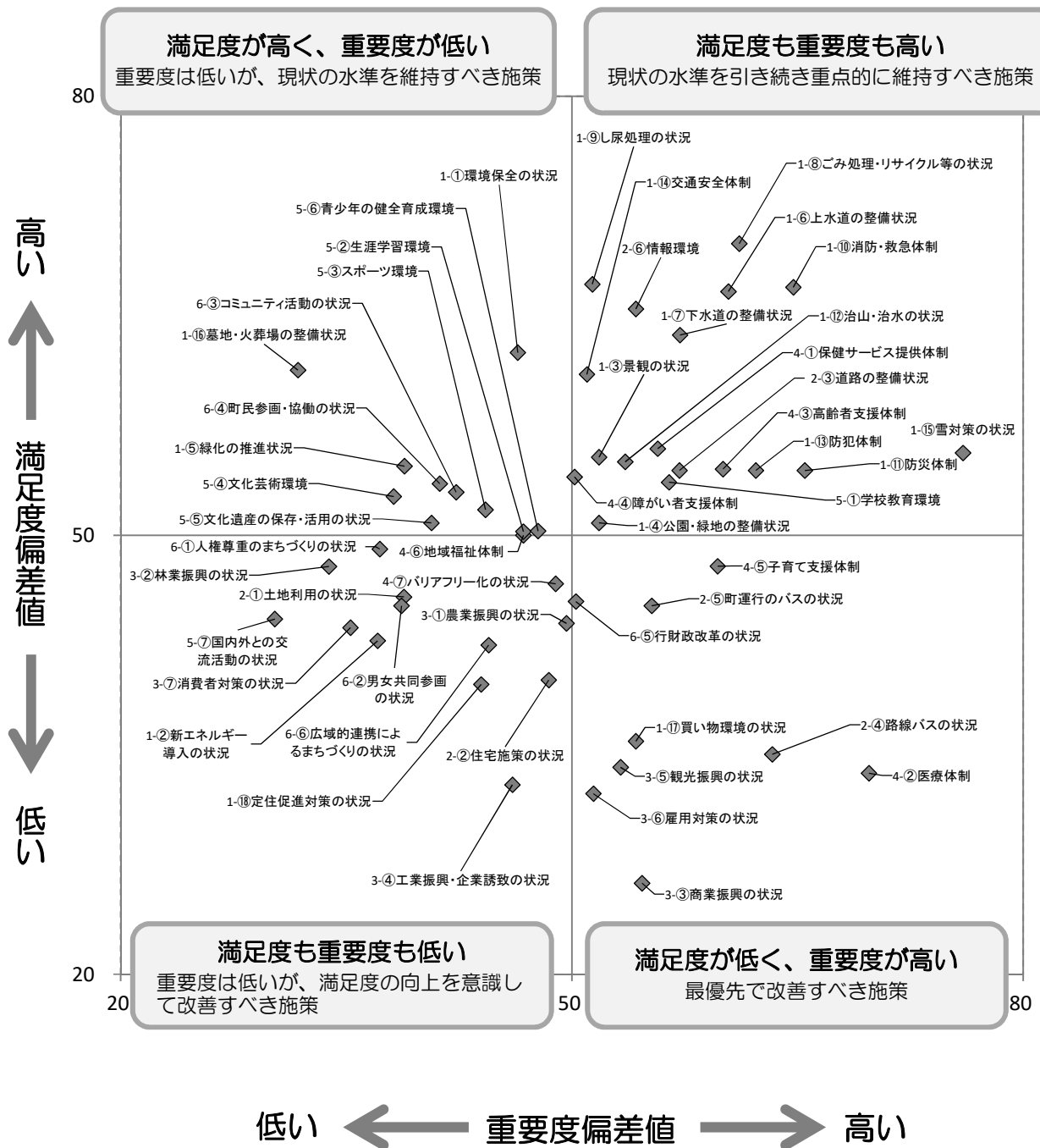
《満足度偏差値と重要度偏差値の相関／全体》



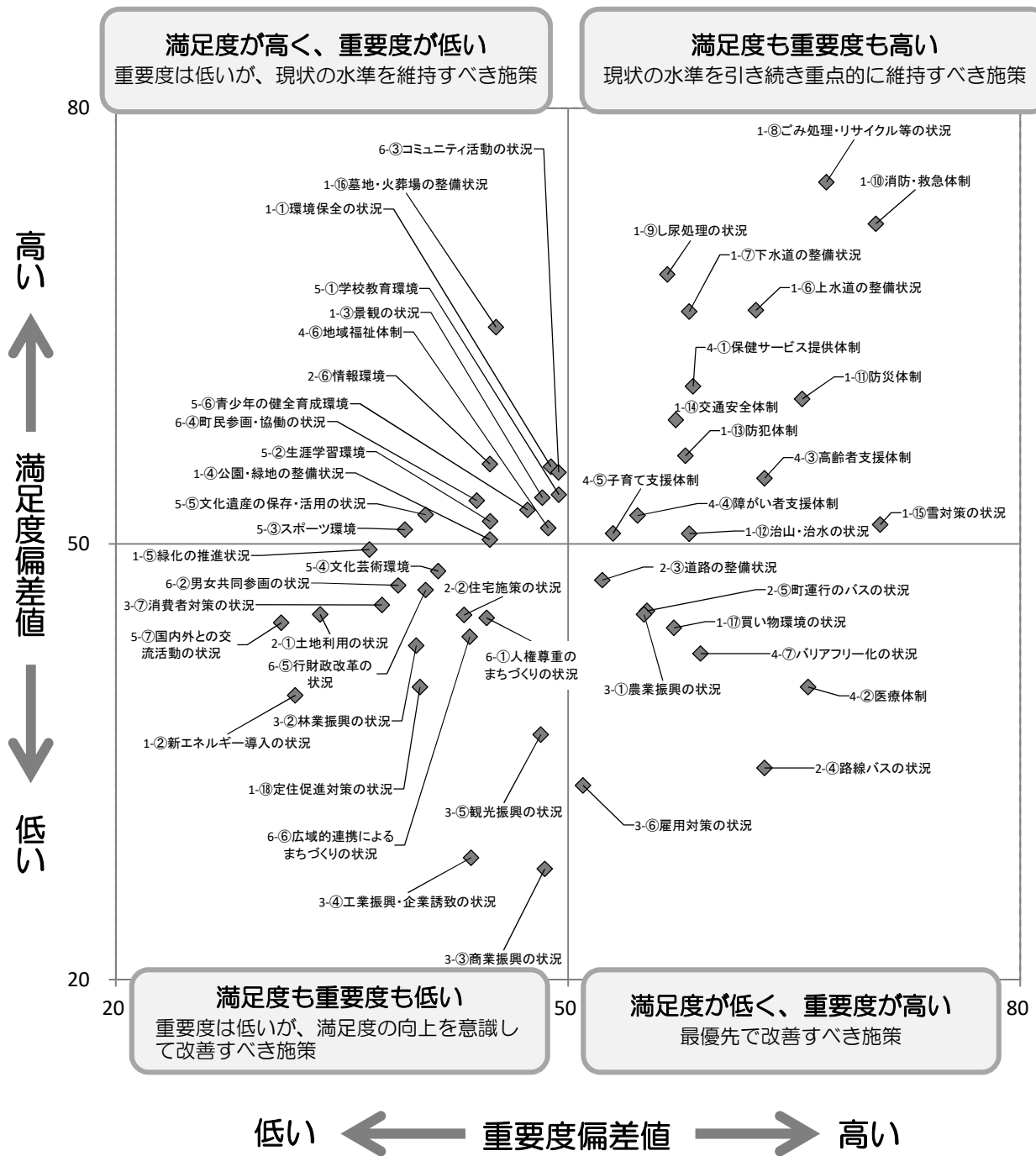
《満足度偏差値と重要度偏差値の相関／30代以下》



《満足度偏差値と重要度偏差値の相関／40～50代》



《満足度偏差値と重要度偏差値の相関／60 歳以上》

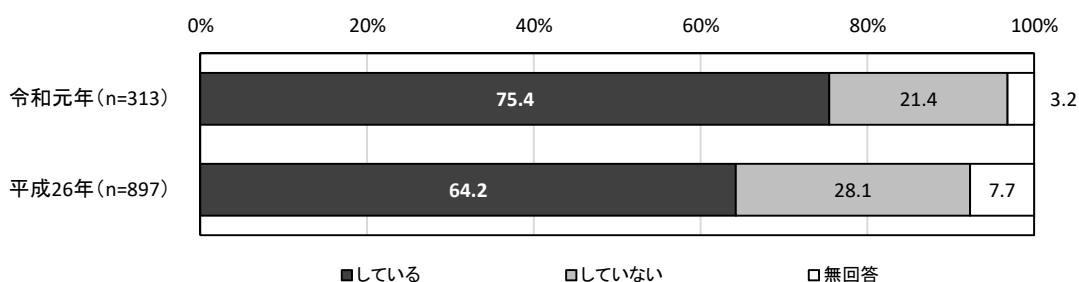


4. 日頃の行動などについて

(1) 環境に配慮した生活の実践

環境に配慮した生活をしている方は75.4%を占めています。平成26年調査と比べると、「している」と回答した方は11.2ポイント増加しています。

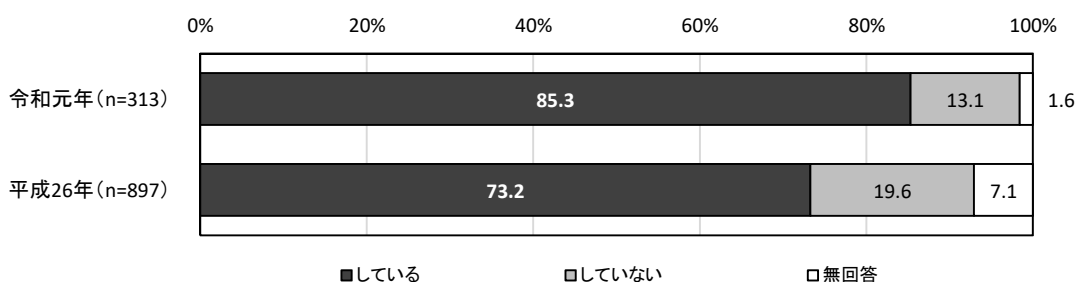
問5 ①あなたは、環境美化や水質浄化、省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。(1つに○印)



(2) ごみの減量化のための3R運動の実践

ごみの減量化のために3R運動をしている方は85.3%を占めています。平成26年調査と比べると、「している」と回答した方は12.1ポイント増加しています。

問5 ②あなたは、ごみの減量化のため、3R運動（リデュース：発生抑止、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。(1つに○印)

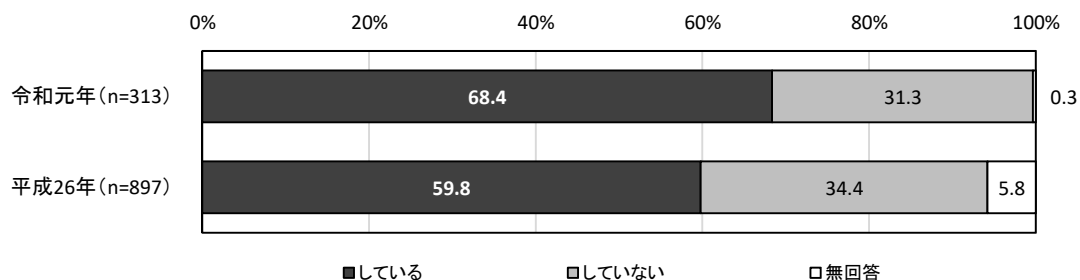


(3) 日頃の健康増進のための取組の実施

日頃の健康増進のための取組をしている方は、68.4%となっています。平成26年調査と比べると、「している」と回答した方は8.6ポイント増加しています。

問5 ③あなたは、日頃、健康増進のための取組（食生活の改善や運動など）をしていますか。

(1つに○印)

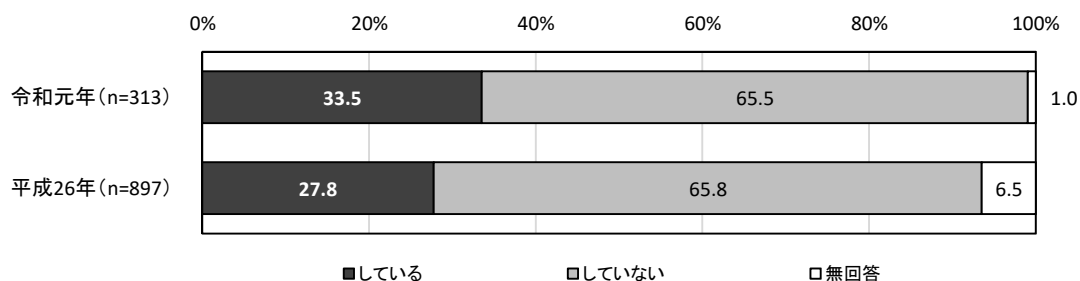


(4) 地域福祉活動の実施

地域活動に参加している方は33.5%で少ないものの、平成26年調査よりも5.7ポイント増加しています。

問5 ④あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。

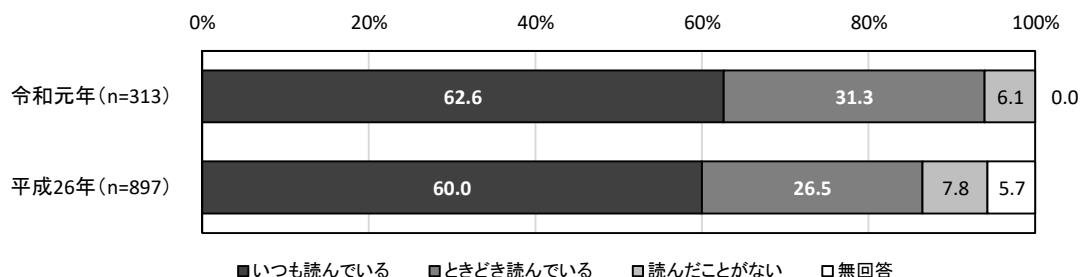
(1つに○印)



(5) 広報「花の里つきがた」を読むこと

広報「花の里つきがた」を「いつも読んでいる」「ときどき読んでいる」方の合計は、93.9%を占めています。平成26年調査と比べると7.4ポイント増加しています。

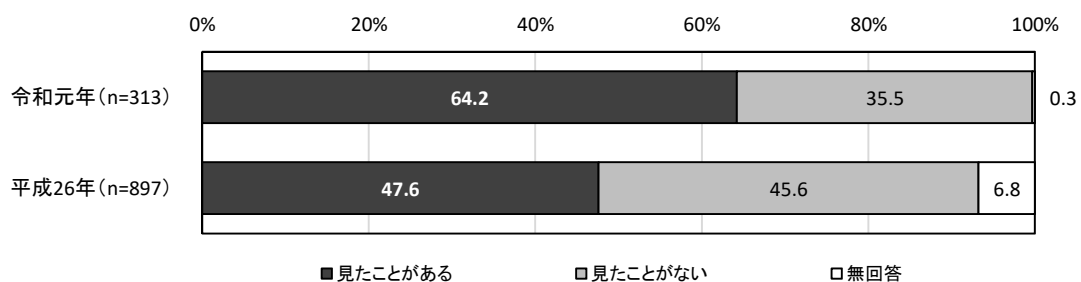
問5 ⑤あなたは、広報「花の里つきがた」を読んでいますか。(1つに○印)



(6) 町のホームページを見たこと

町のホームページを見たことがある方は64.2%となっており、平成26年調査と比べると16.6ポイント増加しています。

問5 ⑥あなたは、町のホームページを見たことがありますか。(1つに○印)

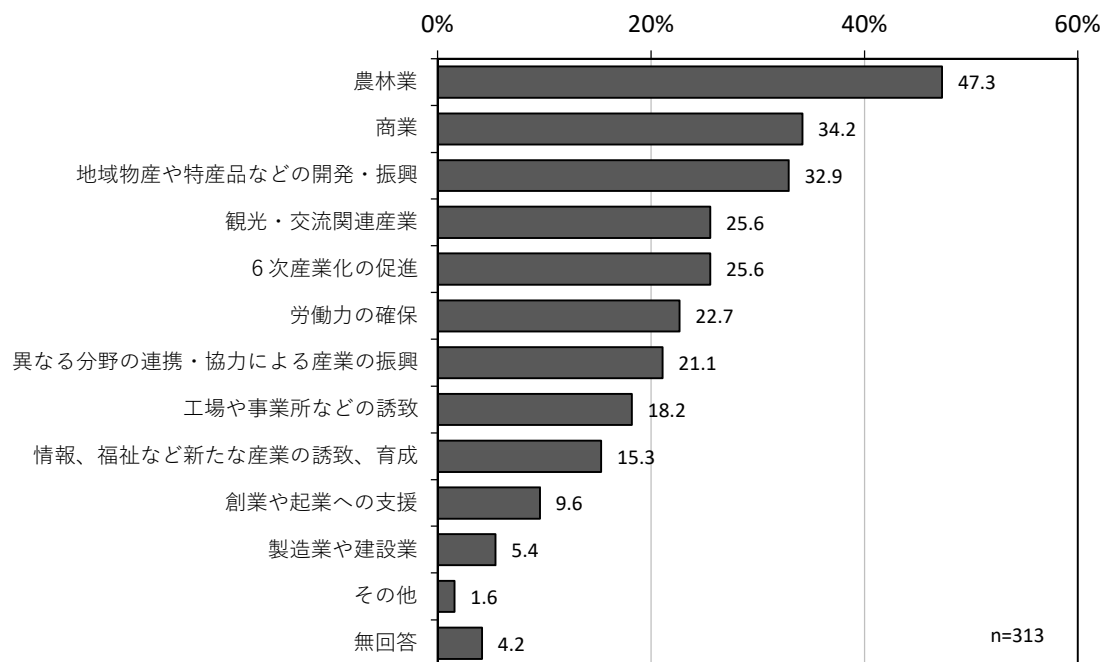


5. 産業振興について

(1) 産業振興で力を入れるべき分野

今後、産業振興で力を入れるべき分野は、「農林業」が47.3%で最も多く、次いで「商業」(34.2%)、「地域物産や特産品などの開発・振興」(32.9%)が続いています。

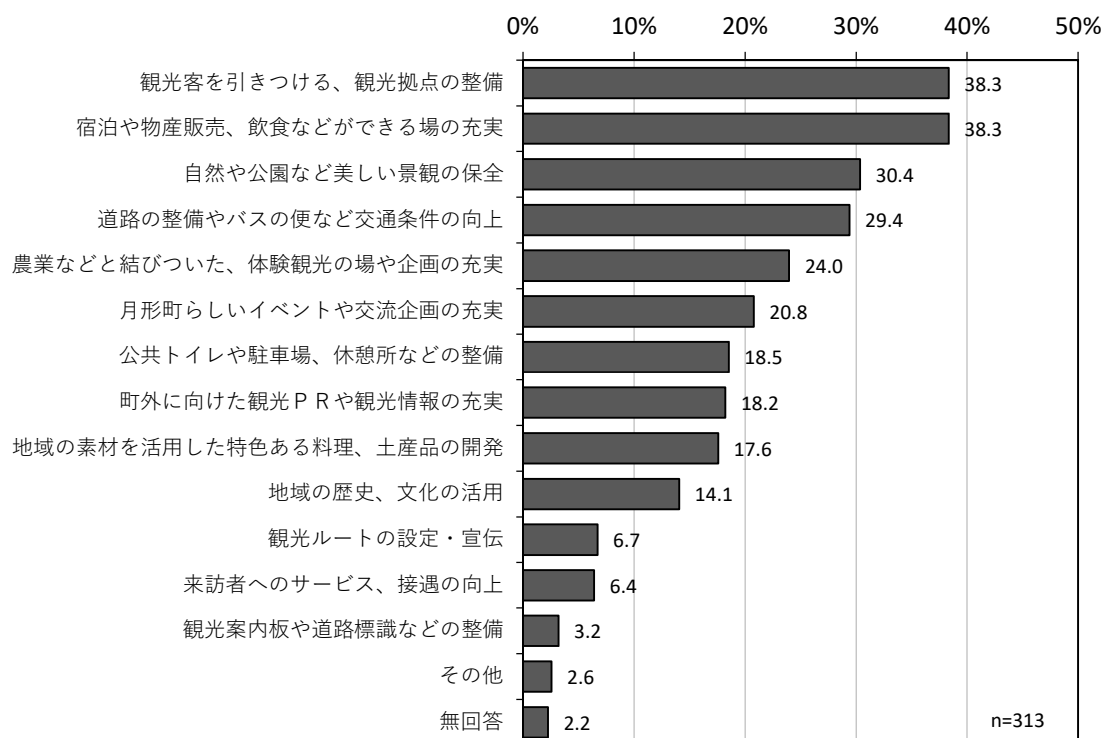
問6 今後、月形町の産業の振興について、どの分野に力を入れるべきと考えますか。(3つまで○印)



(2) 観光・交流の振興に重要なこと

町の観光・交流の振興に重要なことは、「観光客を引きつける、観光拠点の整備」「宿泊や物産販売、飲食などができる場の充実」がともに38.3%で最も多く、次いで「自然や公園など美しい景観の保全」(30.4%)、「道路の整備やバスの便など交通条件の向上」(29.4%)が続いています。

問7 あなたは、月形町の観光・交流の振興に向けて、どのようなことが重要だと思いますか。
(3つまで○印)

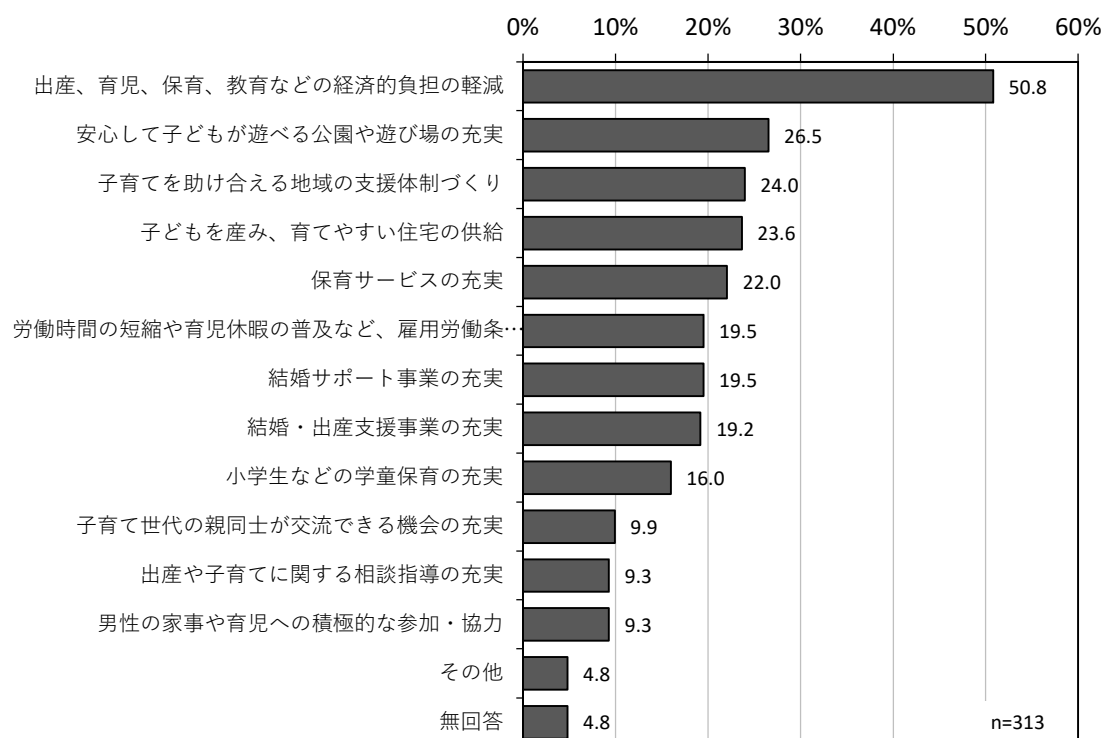


6. 少子化対策について

(1) 少子化対策として力を入れるべき分野

少子化対策として、今後力を入れるべき分野は、「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」が50.8%で最も多く、次いで「安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実」(26.5%)、「子育てを助け合える地域の支援体制づくり」(24.0%)が続いています。

問8 少子化対策として、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えですか。 (3つまで○印)

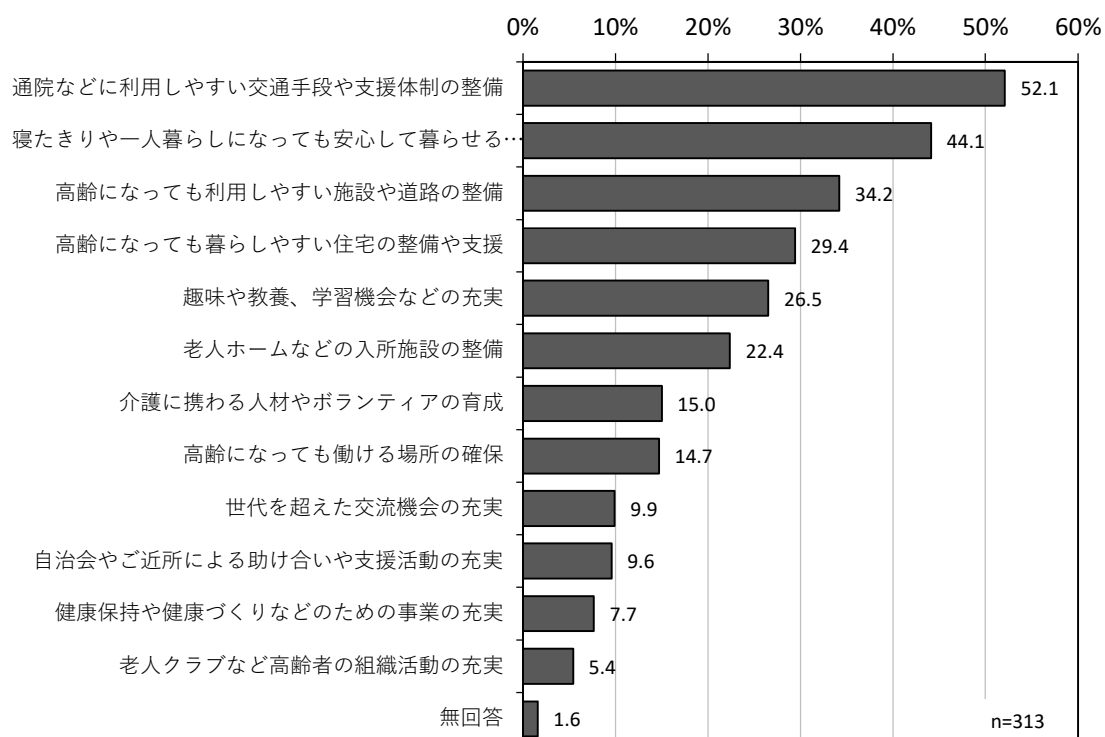


7. 高齢者福祉について

(1) 充実した老後を送るために大切なこと

充実した老後を送るために大切なことは、「通院などに利用しやすい交通手段や支援体制の整備」が52.1%で最も多く、次いで「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」(44.1%)、「高齢になっても利用しやすい施設や道路の整備」(34.2%)が続いています。

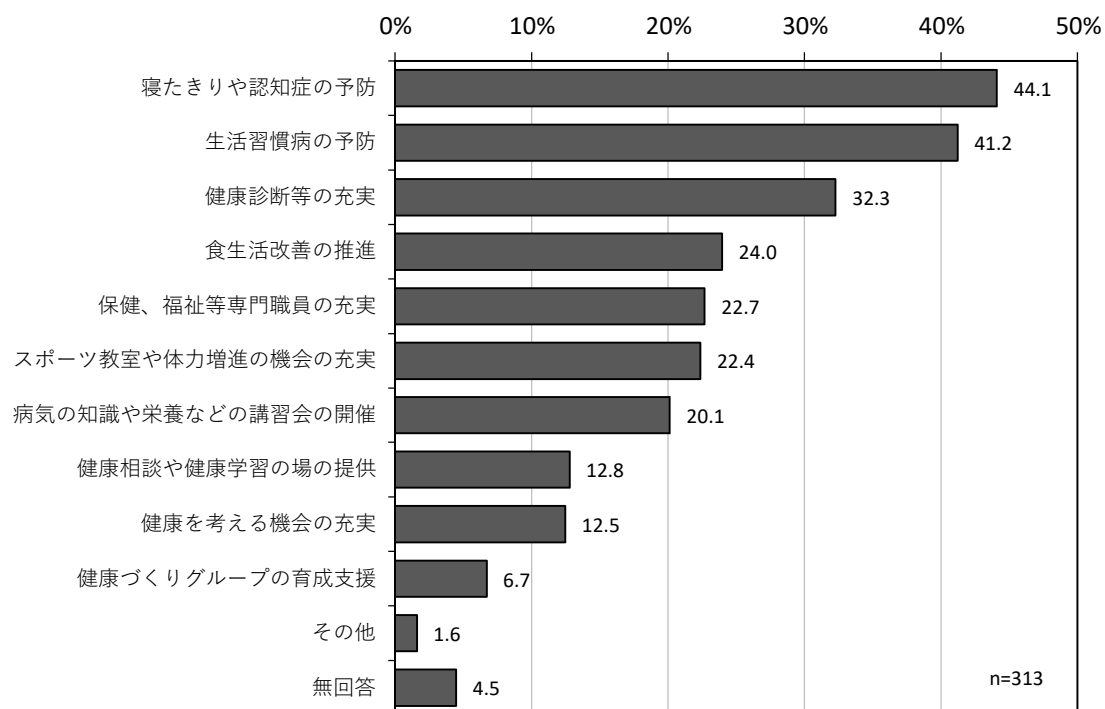
問9 健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、今後、何が大切だと思いますか。
(3つまで○印)



（２）町民が健康な生活を送るために大切なこと

今後、町民が健康な生活を送るために大切なことは、「寝たきりや認知症の予防」が44.1%で最も多く、次いで「生活習慣病の予防」（41.2%）、「健康診断等の充実」（32.3%）が続いています。

問 10 町民が健康な生活を送るためには、今後、何が大切だと思いますか。（3つまで○印）



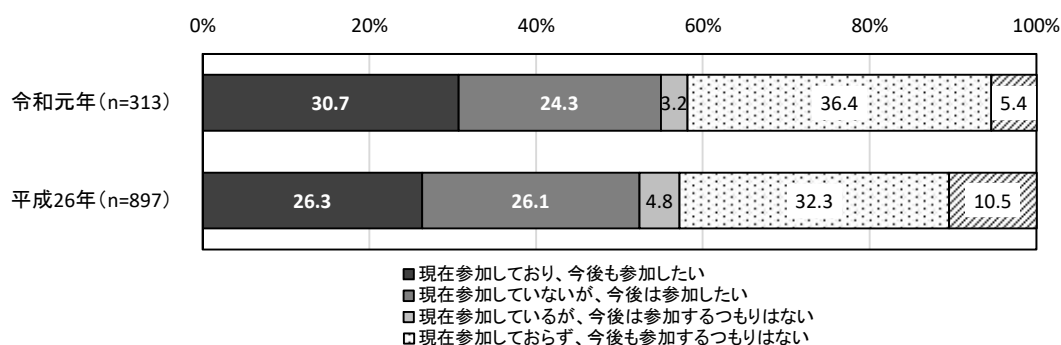
8. コミュニティ活動、参画・協働について

(1) コミュニティ活動等への参加状況と今後の参加意向

コミュニティ活動等への参加状況と今後の参加意向は、現在コミュニティ活動等に参加している方は33.9%と少ない状況です。また、「現在参加しており、今後も参加したい」「現在参加していないが、今後は参加したい」と参加意向のある方の合計は55.0%となっています。

平成26年調査と比べても、大きな差異はみられません。

問 11 あなたの現在のコミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1 つに○印）



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でも、全体と傾向は同じとなっており大きな差異はみられません。

○年齢階級別でみると、40代は、現在参加している方、および今後参加したいと回答している方が他の年代に比べ最も多くなっています。一方、30代は、現在参加している方が18.9%、今後参加したいと回答している方を含めても37.8%で、他の年代に比べて非常に少ない状況です。

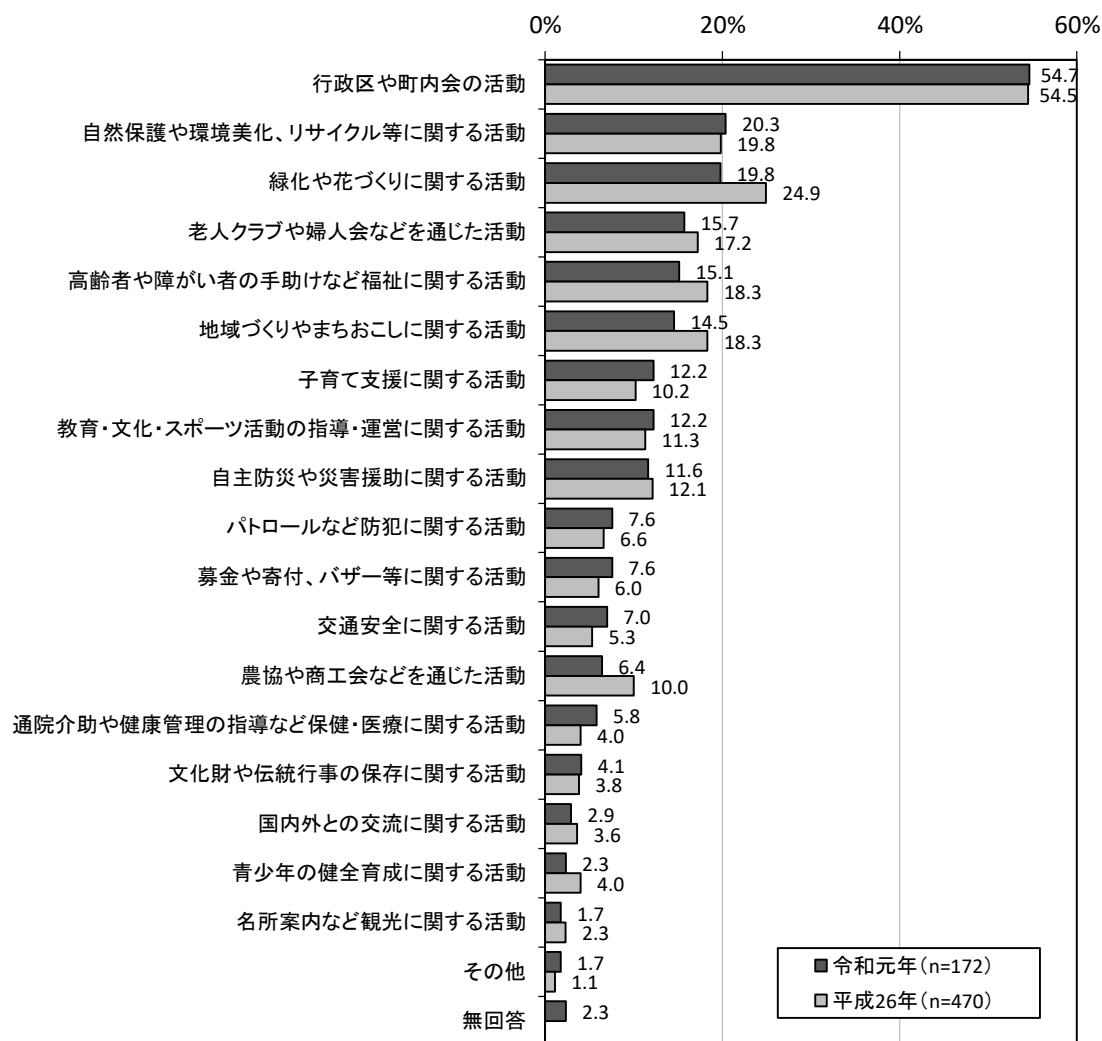
		n	現在参加しており、今後も参加したい	現在参加していないが、今後は参加したい	現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	無回答
全 体		313	30.7	24.3	3.2	36.4	5.4
性別	男 性	129	34.9	18.6	1.6	41.9	3.1
	女 性	174	28.7	27.0	4.6	32.2	7.5
年齢	20 代以下	30	23.3	30.0	0.0	43.3	3.3
	30 代	37	18.9	18.9	0.0	62.2	0.0
	40 代	48	41.7	27.1	4.2	25.0	2.1
	50 代	62	37.1	27.4	1.6	30.6	3.2
	60 代	62	29.0	24.2	8.1	33.9	4.8
	70 歳以上	66	28.8	19.7	3.0	33.3	15.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 参加したいコミュニティ活動等の種類

今後参加したいコミュニティ活動は、「行政区や町内会の活動」が54.7%で最も多く、次いで「自然保護や環境美化、リサイクル等に関する活動」(20.3%)、「緑化や花づくりに関する活動」(19.8%)が続いています。平成26年調査と比べると、おおむね傾向は同じとなっています。

問 11-1 あなたは、今後(今後とも)どのようなコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動に参加したいと思いますか。(3つまで○印)



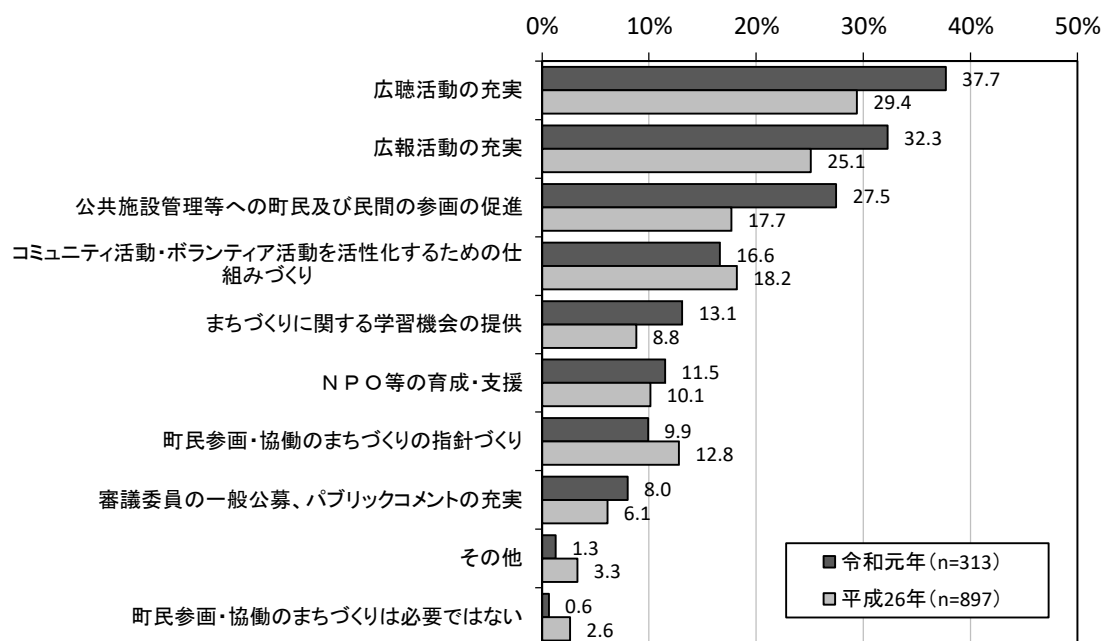
【その他の内容】

- ・趣味に向き合える町(商店街のある町)。
- ・店が多く、人が集まりやすい豊かなまち。

(3) 「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なこと

「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なことは、「広聴活動の充実」が37.7%で最も多く、次いで「広報活動の充実」(32.3%)、「公共施設管理等への町民及び民間の参画の促進」(27.5%)が続いています。平成26年調査と比べると、上位3項目の割合はおよそ10ポイント増加しています。

問 12 これからのまちづくりにおいては、より多くの町民の皆様が町政に参画し、行政と協力して課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために行政として必要なことは何だと思いますか。(2つまで○印)



(4) 行政サービスや財政運営で特に進めていくべき項目

今後、行政サービスや財政運営で特に進めていくべき項目は、「職員の資質・能力の向上、人材育成」が47.3%で最も多く、次いで「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」(43.1%)が続いています。

問 13 今後、行政サービスや財政運営で、役場が特に進めていくべき項目は何だと思いますか。
(3つまで○印)

